

## The 6th CIRP Conference on Industrial Product-Service Systems 2014 参加報告

首都大学東京 木見田康治

2014年4月30日から5月2日にかけて、国際会議 The 6th CIRP Conference on Industrial Product-Service Systems 2014 (CIRP IPS2 2014) が、カナダのウィンザー大学にて開催された。本国際会議は、国際生産加工アカデミー (CIRP) 主催のもと毎年開催されており、今年で6回目を数える。



図1 Group photo

初日は、PSS 教育に関するビジネスゲームの大会が行われた。本大会では、会議の参加者が実際にビジネスゲームを体験し、ビジネスゲームによる PSS の教育について議論を行った。本大会で行われたビジネスゲームは以下の3種である (括弧内はゲームの開発者)。

- Edutainment for Designing Integrated Product-Service Systems: EDIPS (Prof. Y. Shimomura)
- Manufacturing Systems & Variety Games (Prof. H. ElMaraghy)
- Cost Effective Games for Large Classes (Prof. Z. Pasek)

また、ゲーム大会後には、各ゲームの開発者による PSS 教育に関するパネルディスカッションが行われた。



図2 ビジネスゲームイベントの様子

Parallel session は、5月1日から2日の2日にわたり計15種のセッションが行われた。PSS では、製品の所有権は提供者が保持し、顧客が製品をレンタルやシェアするビジネスモデル (Use oriented PSS) や、提供者と顧客間で合意された成果のみが顧客に受け渡されるビジネスモデル (Result oriented PSS) など、従来の製品売切り型ビジネスとは異なる特徴を持つビジネスモデルが数多く提案されている。そのため、Industrial Applications や、New Business Models and Innovation, Risk and Quality Management などセッションにおいて PSS の事例解説や、成功要因やリスクの分析、新たなビジネスモデルの構築方法に関する研究が発表された。また、このようなビジネスモデルを実現するための研究も数多く発表された。例えば、Design Tools and Methodologies においては、製品だけでなくサービスも含めたシステム的设计方法に関する研究が発表された。また、IT and Cyber Technology においては、PSS における IT 技術の活用方法が発表された。

PSS において提案されている新たなビジネスモデルは、主に、顧客に対して高い付加価値を実現することや、製品ライフサイクルにおける環境負荷を低減することを目的としている。そのため、Value Creation や、Performance Indicators and Assessment, Industrial Marketing などのセッションにおいて、PSS における顧客の分析方法や、価値の決定方法、および、測定方法に関する研究が発表された。また、Sustainability や Lifecycle Product-Service Management において、PSS における環境負荷の測定方法や、製品・サービスのライフサイクルマネジメントに関する研究が発表された。

本会議において発表された研究成果は、わが国の製造業が直面する種々の問題の解決に対しても、有用な知見を与えるものである。今後は、日本からも大学の研究者だけでなく、民間企業の方々も数多く参加されることを期待したい。



図3 Parallel session の様子